

<b>団体名</b>	田主丸・未来創造会議
<b>所在地</b>	福岡県久留米市田主丸町田主丸459番地11
<b>団体の目的</b>	田主丸における地域循環共生圏づくりの基本構想と実施計画の策定に係る協議等を行う。
<b>活動地域</b>	久留米市田主丸町
<b>地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿</b>	豊かで個性的な地域資源を活かす取組から生まれる、住民一人ひとりが考え議論し連携する主体的な雰囲気を支えられた、持続可能性ある地域を実現。
<b>地域の現状・課題</b>	久留米市東部に位置する田主丸地域は、耳納連山と筑後川に囲まれた自然の中、全国有数の果樹苗木や植木の生産を誇る特徴的な農業が営まれる。また、河童伝説や多くの神事・伝統行事など日本文化を色濃く残している。 だが、急速な人口減少や地域経済の縮小に直面する中、住民や地域団体、関係機関などが地域を考え主体的に連携する動きがあまり見られない。
<b>地域が持つ資源</b>	日本一の柑橘系果樹苗木生産地。三大植木生産地。耳納連山のJ-クレジット認証取得済み森林空間。福岡県緑化センターの植木アロマ研究実証事業。地域に40以上ある神社。「虫追い祭り」「堂籠り」など特徴ある伝統行事。
<b>取組内容</b>	1)柑橘系果樹苗木の台木となるカタラチの余分を切り倒した部分を野焼きしており、煙害として問題となっている。 これを焼却処分せず利活用することで資源循環型のモデルケースとなりうる可能性を調査研究する。 2)耳納連山の森林空間が有する価値の再認識と利活用を調査研究する。 3)田主丸財産区「かっぱの森」J-クレジット」の販売促進にむけた普及啓発事業を検討する。 4)神事や伝統行事を通じて、持続可能性社会の啓発および環境保全の事業を検討する。
<b>地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果</b>	(環境)地域に暮らす全ての世代が、身近な環境の大切さを再認識することで、気候変動など地球規模の環境問題にも真剣に取り組む地域となる。 (経済)資源の再利用、地域資源を活かした新たな取組により、域外からの人の流れが作り出されることで、経済波及効果が期待できる。 (社会)持続可能な地域社会の構築に最も基本的な基盤である、地域の住民・団体間の連携・協働の動きが醸成される。